

# 【本邦の周産期登録データベースを用いた双胎妊娠における適正体重増加量の策定】に対するご協力のお願い

研究代表者 所属 横浜市立大学附属市民総合医療センター 職名 准教授  
氏名 青木 茂

このたび、日本産科婦人科学会データベース事業（周産期登録）を用いた下記の医学系研究を、日本産科婦人科学会倫理委員会臨床研究審査小委員会の承認ならびに理事長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を診療を受けた施設までお申し出下さいますようお願いいたします。

## 1 対象となる方

西暦 2009 年 1 月 1 日より 2018 年 12 月 31 日までの間に、日本産科婦人科学会の周産期登録データベース事業に参加している施設において双胎妊娠で分娩された方

## 2 研究課題名

承認番号 20xx-xx

研究課題名 本邦の周産期登録データベースを用いた双胎妊娠における適正体重増加量の策定

## 3 研究実施機関

横浜市立大学附属市民総合医療センター 総合周産期母子医療センター

研究責任者：青木茂

研究分担者：小畑聡一郎

## 4 本研究の意義、目的、方法

周産期登録データベースから各施設で分娩された双胎妊娠の妊婦の情報を取得します。

得られた情報をもとに妊娠中の体重増加量と妊娠分娩転帰の関連性を解析することで本邦の双胎妊娠における適正体重増加量の基準を策定します。

## 5 協力をお願いする内容

周産期登録データベースから以下の情報を取得します。

- 1) 患者基本情報：年齢、身長、体重、経妊回数、経産回数、既往歴、嗜好歴（アルコール

ル、たばこ) 妊娠前合併症, 妊娠方法, 母体搬送の有無

- 2) 母体妊娠中までの合併症 (妊娠糖尿病, 妊娠高血圧症候群, 切迫早産)
- 3) 母体転帰: 分娩方法, 出血量, 輸血の有無, 分娩時合併症
- 4) 新生児転帰: 在胎週数, 新生児集中治療室入室の有無, 児体重, 児身長, アプガースコア (1 分値, 5 分値) 臍帯動脈血ガス値, 新生児合併症

## 6 本研究の実施期間

研究実施許可日～2021 年 3 月 31 日

## 7 プライバシーの保護について

本研究で取り扱う患者さんの情報は個人情報をすべて削除し、第 3 者にはどなたのものか一切わからない形で日本産科婦人科学会から提供され、使用します。患者さんの情報と個人情報を連結させることはありません。

## 8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人 (ご本人より本研究に関する委任を受けた方など) より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合は診療のために受診された施設へのご連絡をお願いいたします。

研究代表者: 青木茂

所属: 横浜市立大学附属市民総合医療センター総合周産期母子医療センター

TEL: 045-261-5656

FAX: 045-253-5784

Email: [smyyaoki@yahoo.co.jp](mailto:smyyaoki@yahoo.co.jp)

研究分担者: 小畑聡一郎

所属: 横浜市立大学附属市民総合医療センター総合周産期母子医療センター

TEL: 045-261-5656

FAX: 045-253-5784

Email: [soobata@yokohama-cu.ac.jp](mailto:soobata@yokohama-cu.ac.jp)

日本産科婦人科学会事務局

TEL: 03-5524-6900

FAX: 03-5524-6911

Email: [nissanfu@jsog.or.jp](mailto:nissanfu@jsog.or.jp)